

審議会でのご意見要旨

施策分野

1 高校生や大学生になると、リーフレットそのものを考えてもらうということもできるかと思う。大人がサポートに回って、子どもたちにどんな啓発の手法があれば見てもらえるかということを主体的に考えてもらう仕組みを作っていただきたい。

施策分野

1 女性の働きやすい職場環境として、なかなか理解しにくい性の健康問題、特に月経困難症や更年期障害への理解も、中小企業への啓発として挙げていただきたい。

2 年齢的に会社をリタイアしないと地域活動に参加するのが難しかったりすることもある。地域の防災活動にも今男性の方が参画していて女性の方が参画していないというような現状をもう少し細かく考えると年齢も経験されている男性の固定のメンバーによる参画というふうになっているのではないかと思う。今後は女性だけではなく、今働いている男性や、働いている女性全ての人が地域活動や防災活動に参画することで、地域の方も活性化すると思うし、そういったことを推奨する会社が高い評価を得るといようなことができればいいのではないか。

3 地域の活動で、女性も性別役割分担を強いられて、後ろに下がって、あまり意見を言わせてもらえないということも実態としてはある。それを変えていこうと思うと会社の企業で勤めている方の年代が地域に入ることも大事だとは思いますが、地域活動の中での役割分担の考えを見直していくということも必要であり大事なところである。

4 地域のリーダー的な女性の存在が必要となっていると記載されており、社内においても防災を担う女性のリーダーが必要であると思うし、男女共同参画の視点からも防災に注力をしている企業に光が当たるようになれば、退職後に地域活動を始める際にも、社会人の時のキャリアを継続して地域で活かせるということが考えられるのではないかと思う。
中小企業向けの支援啓発強化の中にハラスメントとか健康課題についてのセミナーをされると記載もあるので、そこに防災推進者研修も加えるなど社内の防災の担い手を増やすといった受け皿作りなども考えていただきたい。

5 女性が復職されたときに、防災担当になるとすごく荷が重いという意見を聞いたことがある。災害はいつ発生するかわからないので子どもがいて、早く退社をしている時期に防災担当を引き受けてしまうと、夜発災したときに自分には行かないといけないうのだからという不安があり、どうしても負担になってしまうということも聞く。
しかしながら、災害はいつ起きるかわからないという前提で言うと、男性も女性もチームとしてお互いに補完し合える組織作りが備えに役立つし、特に避難所に女性の視点を取り込むにも繋がるので、まずは市がこうした意識の広がりを啓発するところからだと思うので、企業に対しても何か働きかけができる機会があればありがたいと思う。

6 管理的職業従事者における女性の割合30%という成果目標と非常に高い目標を掲げたので、相当いろんなことをしないと今までも達成できていないので、いろんな手を尽くしてやっていかないとこの数字を達成できないというふうに企業で推進していた立場からも実感している。
40代50代の女性が活躍の場がなくて辞めていくとかという企業の中での場面はまだ続いており、どこかの時点でなぜ増えなかったかという振り返りをやらないといけないと思っている。
女性が辞めていくことについては、女性本人と会社の見方には非常にギャップがあるとヒアリングしていても感じるで、そのギャップを経営陣に突き付けられないといけない。企業の中の構造であるとか、そのような見方を変えていくことを、高い目標値を掲げる以上はこの機会に示していただきたい。

7 当事者の方に対する支援が多く書かれているが、その周りの環境の整備であったり、周りの理解を促進することであったりという方向性をもう少し打ち出してもらうことが必要と感じる。周りの方に対するケアも含めてだとは思いますが、経営陣がそういうことを感じてもらわないと当事者の支援をしたところで浸透していかないと思う。そのような視点も盛り込んでいければよいと思う。

施策分野

1 大事な人を大事にしようと思いましたがといった教科書的な内容だと中学生にはあまり響かないし、身近な人をもっと大事にしようと思ったり、暴力したら駄目だねという話にしかならなかったりするのはないかと思う。もっと具体的事案に落とし込んで中学生にアクセスしていかないといけないということを実感として思っている。
アンケートに入れていただけなのであれば、必ずSNSの関係の質問、例えばLINEが来るすぐに返さないと愛情はないと感じられる、はい、いいえといった内容を入れていただきたい。こういった具体的なものを入れないと、大人が何となく考えている抽象的な大事にするとかしないとかのアンケートだとあまり意味はないと思う。

地域包括ケアシステムの推進体制の充実を図ると書かれていますが、障がい者支援計画とか高齢者支援計画があるので、当該計画のやっていることがそのまま上げて来るのではなく、男女共同参画の計画なので、そこを踏まえうえで、事業進
2 捗を報告していただきたい。

高齢者にも、女性の高齢者、男性の高齢者特有のところがあるので、そのあたりが進捗報告のときに考慮されていないような形で報告が上がってくるということがこれまでもあったので、担当部局の方に進捗管理のときに話していただきたい。